

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	全学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18032	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	中国語 (Chinese)				
担当教員名	李 克城				
授業の概要及び到達目標					
<p>この講座では中国語の基本的な日常会話ができるようになることを目標とする。そのために、日常的な場面を数多く設定し、その場面においてどのような表現がなされるかという実用的パターン・プラクティスを重視する。同時に音声面にも力を入れたい。基本的な文法を基に生活の中で使われる中国語の習得を目指したいと考える。</p> <p>そして、国際理解の一助となるよう、近年経済大国として成長著しい中国の現状や生活、文化にも触れ、中国語のみならず、中国入門の講座としたい。</p>					
準備学習等					
1回	中国の文化、漢字と発音。 テキストの P6～P9				予習 2 時間
2回	テキストの P8～P13	CD3. 4. 5	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
3回	テキストの P8～P14	CD6～11	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
4回	テキストの P13～P17	CD13～19	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
5回	テキストの P17～P22	CD20～26	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
6回	テキストの P22～P27	CD27～33	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
7回	テキストの P27～P31	CD34～41	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
8回	テキストの P31～P35	CD41～47	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
9回	テキストの P35～P39	CD47～53	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
10回	テキストの P39～P43	CD53～59	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
11回	テキストの P43～P47	CD59～65	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
12回	テキストの P47～P51	CD65～71	を聞いて発音練習すること。		復習予習 2 時間
13回	中国のビデオ視聴				復習 2 時間
14回	テキストの P63～P66				復習予習 2 時間
15回	練習問題まとめ				
成績評価の方法	授業参加の積極性（発音練習、会話練習）30%、期末試験 70% 但し中国語検定試験 4 級以上を取得しているか、またはそれに相当する学生については試験による評価の割合を高くする。				
テキスト	「中国語はじめの一步」竹島 金吾 監修 尹 景春・竹島 毅 著 (白水社) 2012 年 3 月 10 日 第 1 刷発行				
参考図書	「大地」パール・バック 「三国志」吉川 英治				

備 考	<p>授業開始 20 分以後の入室は、原則として禁止。 授業終了後教室で質問を受け付ける。 理解を深めるために中国のニュースや映画を見たり、中国の文化や歴史について書かれた本を読んだりすることが望ましい。 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示されている各学科の履修系統図を確認のこと。 平常点と期末試験の合計が 60 点未満の者については、再試験を実施する。 定期試験の欠席者についても追試験を実施する。</p>
授 業 計 画	
第 1 講	中国とは 中国語とは 発音の練習 (四声) 中国語で話してみよう
第 2 講	発音 (母音、子音) 数字を言ってみよう 単語から文へ
第 3 講	発音 (母音、子音) 中国語で話そう
第 4 講	人称代名詞 “是” の文 トレーニング (応用問題)
第 5 講	指示代名詞 1 疑問詞 トレーニング (応用問題)
第 6 講	動詞の文 所有を表す “有” トレーニング (応用問題)
第 7 講	量詞 指示代名詞 2 トレーニング (応用問題)
第 8 講	日付 時刻 トレーニング (応用問題)
第 9 講	時態助詞 トレーニング (応用問題)
第 10 講	介詞 1 “在” トレーニング (応用問題)
第 11 講	介詞 2 “从” トレーニング (応用問題)
第 12 講	助動詞
第 13 講	ビデオ教材で中国の生活の様子を知る
第 14 講	練習問題
第 15 講	まとめ